



潮風のまちで感動体験

7月11日、12日の両日、南三陸町との市民交流事業、「南三陸わくわくツアー」を開催しました。
2回目となった今年のツアーには、昨年も参加した3家族7人を含む7家族17人が参加。歌津地区の魚竜館で、志

津川小学校の児童7人と対面し、「南三陸わくわく探検隊」の旗を参加者全員で作り、入隊式を行いました。
入隊後は、潮風の中で南三陸の海が育てる自然のめぐみを、漁師さんから教えてもらいました。



午後2時、歌津地区の漁船2隻に分かれて乗船。養殖漁業を営む高橋さん親子と島山さんの船で、カキとホタテの養殖場を見学。南三陸の海から大きく育ったホタテを引き揚げ、船上でたくさんごちそうになりました。

高速道路を乗り継いで約2時間、南三陸の海が迎えてくれました。漁業体験や海の釣り堀での釣り大会などを楽しんだほか、地元で捕れた魚介類をふんだんに使った「海鮮丼」や「パーベキュー」など、旬の味覚を思う存分味わいました。

参加した皆さんからは、「船酔いもなく、楽しく体験ができました。来年も参加したいです」とうれしい感想や、「昨年参加した方から紹介されて参加しました。子どもは、いい体験ができたと思います」と好評。また、「体験中心のツアーで楽しいです。浅瀬での磯遊びをしたかったですね」と企画へのご意見もいただきました。

ツアーを担当する南三陸町産業振興課の宮川舞さんは、「白石市の皆さんと南三陸町の町民が交流できるツアーにしたいと考えています。来年のツアーでは、要望のあった磯遊びとシーカヤックを目玉に、何回来でも楽しい南三陸町の魅力を紹介していきたいと思います」と笑顔で話してくれました。



南三陸町産業振興課 宮川 舞さん

- 01 探検隊の旗を作る南三陸と白石の子どもたち
- 02 「探検隊」の旗も出来上がり、南三陸の子どもたちと一緒に記念撮影
- 03 スズキ、ヒラメ、ヒラマサ、ホタテ、ウニ、タコ、アワビの三陸の幸がいっぱいの海鮮丼
- 04 「お母さん、あれが化石だよ！」「えっ！ どれ！ どれ！」
- 05 漁業体験でカキの養殖場へ
- 06 漁業体験で漁師さんのお手伝い
- 07 「これ食べられるの？」
- 08 力を合わせて釣り上げました。
- 09 田束山の山頂へ。リアス式海岸を一望できる絶景ポイントで、はい、ポーズ！
- 10 漁船が出港すると、ウミネコと一緒に沖まで。スナック菓子を手にウミネコを呼ぶ子どもたち
- 11 夕食場所に向かうバスに向かって駆け出す子どもたち
- 12 漁業体験を終えて、港に戻る漁船の上でポーズをとる、南三陸と白石の子どもたち
- 13 夕食は、海鮮パーベキューを楽しみました。

南三陸の思い出がいっぱい

このツアーで見せてくれた子どもたちの笑顔は、心の底から楽しんでいるすてきな笑顔でした。
これからも、この笑顔を見たいので、皆さん、ぜひご参加ください。